

環境報告書 2023

NASU-MATERIAL Corporation Environmental Report

<http://www.nasu-material.co.jp>



NASU MATERIAL

環境報告書の作成にあたって

この環境報告書は、当社における環境に関する活動の成果をとりまとめ、公表するものです。

環境報告書対象期間

2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31

当社の2022年度の活動をまとめたものです。

環境報告書対象組織

那須マテリアル株式会社 本社 栃木県大田原市
東北事業所 福島県西白河郡西郷村

発行 2023年 8月

CONTENTS

1. 会社概要	3
2. 工場及び業務の内容	4
3. 環境方針	5
4. EMSの取り組み-1	6
EMSの取り組み-2	7
5. 教育訓練	8
6. 産業廃棄物の再生資源化、情報漏洩対策	9
7. SDGsの取り組み	10
8. その他の環境活動	10
9. 地域社会への取り組み	11

1. 会社概要

商号	那須マテリアル株式会社	
所在地	本社工場	栃木県大田原市北金丸2122番地（産業廃棄物処理施設）
	東北事業所	福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平175番5
創立	1997年 9月 9日	
資本金	5600万円	
代表者	代表取締役	星 彰治

会社履歴			
1997年	9月	那須マテリアル株式会社を設立。	
2000年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を取得。	
		栃木県産業廃棄物処分業許可を取得。	
2002年	11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を取得。	
	12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を取得。	
2003年	6月	星 彰治が代表取締役に就任。	
2004年	11月	I S O 14001の認証を取得。	
2005年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。	
		栃木県産業廃棄物処分業許可を更新。	
2006年	4月	福島県にシリコンの選別・検査・加工の施設として東北事業所を開設。	
		9月	一般労働者派遣事業許可を取得。
		10月	群馬県産業廃棄物収集運搬許可を取得。
2007年	8月	I S O 27001の認証を取得。	
	11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。	
	12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を更新。	
2008年	12月	郡山市産業廃棄物収集運搬許可を取得。	
2009年	2月	福島県西郷村の東北事業所を増築。	
2010年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。	
		栃木県産業廃棄物処分業許可を更新。	
	9月	茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を取得。	
2011年	4月	廃掃法改正のため、宇都宮市と郡山市の産業廃棄物収集運搬業の許可が各県知事の許可と合理化。	
		栃木県産業廃棄物処分業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。	
	10月	栃木県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。	
		群馬県産業廃棄物収集運搬許可を更新。	
11月	群馬県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。		
	福島県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。		
	2013年	2月	太陽光発電事業（第一期）の開始。
2013年	4月	太陽光発電事業（第二期）の開始。	
		12月	東北事業所にて太陽光発電事業の開始。
2014年	11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。	
		福島県産業廃棄物収集運搬業において、引き続き優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。	
2015年	2月	茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。	
		茨城県産業廃棄物収集運搬業において、優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。	
2016年	2月	太陽光発電事業（低圧第四発電所）の開始。	
		太陽光発電事業（低圧第一発電所）の開始。	
		10月	太陽光発電事業（低圧第二発電所）の開始。
2017年	3月	栃木県産業廃棄物収集運搬許可を更新。	
		栃木県産業廃棄物収集運搬業において、引き続き優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。	
		栃木県産業廃棄物処分業許可を更新。	
		栃木県産業廃棄物処分業において、引き続き優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。	
8月	古物商許可取得。		
	10月	風力発電事業（低圧第一発電所）の開始。	
2018年	1月	栃木県において、移動式破砕機の産業廃棄物処理施設設置許可を取得。	
		栃木県産業廃棄物処分業の取り扱う種類に木くずを追加。	
	6月	太陽光発電事業（低圧第三発電所）の開始。	
12月	風力発電事業（低圧第三発電所）の開始。		
	静岡県掛川市に太陽光発電施設（高圧）を取得。		
2019年	12月	栃木県産業廃棄物収集運搬業において、収集運搬車両を追加。	
2021年	10月	「とちぎのSDGs推進企業登録制度」に登録となる。	
		福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。	
11月	福島県産業廃棄物収集運搬業において、引き続き優良産廃処理業者認定基準に適合していると認められる。		

2. 工場及び業務の内容

■本 社 工 場

所在地 栃木県大田原市北金丸2122

敷地面積 31,712㎡

業務内容 ●OA機器・金融機器・家電等の電子機器類等の手解体・選別により、鉄・非鉄、
貴金属・ガラス・プラスチック・紙回収によるリサイクル
●太陽光、風力を利用した発電業務、電力の販売、並びに太陽光発電施設の
企画・提案、販売、太陽光発電機械器具の販売、設置
●建設資機材・環境機器のレンタル事業

保有設備 破砕機×1,粉砕機×1,被覆電線処理装置×1,発泡スチロール減容再生機×1,フォークリフト×2,ローリフト×1,トラックスケール×1
プリンター付デジタル計量器×1,2tトラック×1,4tトラック×2,自走式木材破砕機×1,3.8m敷鉄板×150



本 社

■東 北 事 業 所

所在地 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平175-5

敷地面積 3,012.74㎡

業務内容 ●鉄・非鉄、貴金属・プラスチック・紙回収によるリサイクル
●シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレード、
シリコンインゴットの売買

●太陽光を使用した発電業務、電力の販売

保有設備 フォークリフト×2,シリコン自動選別機,プリンター付デジタル計量器×1



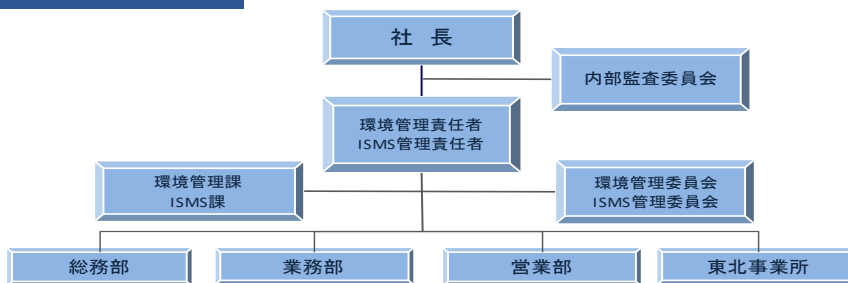
東北事業所

● 事業許可一覧

許 可	許可機関	許可番号	許可年月日	許可有効期限
産業廃棄物処分業許可	栃木県	920068280	平成30年2月2日	令和6年3月26日
産業廃棄物収集運搬業許可	栃木県	910068280	平成29年3月9日	令和6年3月8日
産業廃棄物収集運搬業許可	福島県	707068280	平成26年12月26日	令和10年11月19日
産業廃棄物収集運搬業許可	群馬県	1000068280	平成30年10月6日	令和7年10月5日
産業廃棄物収集運搬業許可	茨城県	801068280	令和4年12月6日	令和11年9月12日
産業廃棄物処理施設設置許可	栃木県	45-1	平成30年2月2日	期限なし
古物商許可	栃木県公安委員会	411080000911	平成29年8月8日	期限なし
労働者派遣事業許可	厚生労働大臣	派09-300101	平成18年9月1日	令和6年8月31日

マークは優良産業処理業者認定制度により適合認定を受けております

● 環境への推進体制



● グループ会社



秋田マテリアル株式会社

本 社：秋田県にかほ市平沢字深谷地16-8
三森工場：秋田県にかほ市三森字高田20番地
<https://akita-material.com/>



エヌズホールディングス株式会社
N's HOLDINGS

本 社：福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平175-5
大田原支社：栃木県大田原市北金丸2122



PRETEC ENGINEERING SF
プレテックエンジニアリングエスエフ

栃木県那須塩原市三区町531-1
<http://pesf.co.jp/>

3. 環境方針

当社は、廃棄物を国際資源と捉え、手解体、手選別という手法により、再資源化・有効利用していく「循環型社会の構築」という夢に貢献して参ります。

当社は、産業廃棄物処分及び収集運搬事業、シリコンスクラップの再生利用事業、太陽光、風力の発電業務、太陽光関連機械器具販売という環境保全に関わる事業を展開していること、また、再資源化事業者として、2011年3月11日発生の「東日本大震災」の復興に、素材の再資源化事業を通して付与して行く事を踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行います。

1. 当社は、当社の事業活動に伴って発生する環境影響等を認識し、環境負荷の低減に向け、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防に努めます。
2. 当社は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他要求事項を遵守することはもちろん、経済面・スタッフ・技術面において可能な限り更なる自主規制を設けます。
3. 当社の立地する大田原市金田地区は、ザゼン草の群生地や白鳥の飛来する羽田沼、また2006年4月開設した東北事業所の立地する福島県西郷地区は、日光国立公園「さわやか高原公園都市」と紹介され、大河川、「阿武隈川」の源流や、隣の白河市には、日本最古の「南湖公園」が存在するという恵まれた自然環境であることを踏まえ、当社の事業活動における環境負荷抑制のための最重要課題として以下の項目を設定します。
 1. 太陽光発電、及び、風力発電業務における電力の供給を行い、自然エネルギーの有効利用を推進します。
 2. 省資源・省エネルギーの推進、環境負荷の軽減に努めます。
 3. 収集運搬車両の燃費向上に努め、CO2排出を抑制するよう、エコドライブを心がけます。
 4. 再生入荷物及びリサイクル品の資源・素材の再利用及び再生利用を行い、有効利用を促進します。
4. これらの環境目的に従事する従業員に周知・認識させ、更に個々の視点からの発想も積極的に取り入れていき、「実行」の仕組みを確立し、「点検」・「見直し」の機会を設けていきます。
5. この環境方針は当社で働く又は当社に委託されて働く全ての人に周知するほか、社外の利害関係者に公表致します。

作成：2004年 6月18日

改定：2018年 3月 9日

那須マテリアル株式会社
代表取締役 星 彰治

4. EMSの取り組み 1

● 環境目標一覧

区分	環境目的	著しい環境側面	基準値	運用開始 19年度目	
				2022年度目標 期間：2022年4月 ～2023年3月	目標量等
Ⅰ 省エネ・省資源対策	1.電力使用量の削減 (100V,200V)	事務所の照明,事務機器,業務部門関連の施設設備(プレス機)等の稼働に伴う電力の消費 Co2削減目標に置き換えて集計する	本社2020年度 使用実績値 39,790kwh 東北2020年度 使用実績値 18,655kwh 合計: 58,445kwh	■CO2排出削減目標に置換える	
	2.軽油の消費削減	業務部,東北事業所,業務部門の使用トラック	2020年度実績 5,350L		
Ⅱ 廃棄物等 排出対策	3.CO2の排出削減	「電力」「軽油」「ガソリン」「LPガス」「灯油」の使用に伴うCO2の排出	2020年度実績 45,586kgCO2	■目標：基準値比 1.0%削減	45,130kgCo2
Ⅲ 施設・設備 作業関連の 緊急時対策	1.収集運搬業	トラック,建物や人身等への接触事故、荷積み・荷降ろし時の荷物の落下事故、積雪時に横転・接触事故、油圧ホースからの油の漏れ事故 登録除外	2020年度 緊急事態件数 0件		
	2.業務用トラック関連の予防保全	荷物の落下、飛散、人身、物損事故	2020年度 緊急事態件数 0件		
Ⅳ その他環境に有益な項目	1.再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進		2020年度実績 1,514,037Kg	■基準値比 1.5%増加	1,536,748kg
	2.会社周辺のクリーン活動		2020年度実績 2回	■目標実施回数	2回/年
	3.再生可能エネルギー発電事業によるCO2の削減		2020年度実績 1,020,075 kgCO2	■実績値の集計の実施	
	4.新規アイテムのリサイクル業務		TOP SECRET	TOP SECRET	
	5.太陽光パネルの洗浄		2020年度 実績 1回	■本社高圧発電所のうち1/2箇所実施	

4. EMSの取り組み 2

●環境活動実績と推移

環境目的		2020年度実績	2021年度実績	2022年度の目標値	2022年度実績	実績結果
省工ネ・省資源対策	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量の削減 軽油の消費削減 CO2の排出削減 	2020年度 削減目標値より 11.4% 削減 目標値達成 ○	2021年度 削減目標値より 9.0% 削減 目標値達成 ○	・CO2排出基準値 45,586 kg-co2 より1.0%削減	2022年度 削減目標値より 12.5% 削減 目標値達成 ○	CO2の算出計算については、環境省の「温室効果ガス排出算定・報告・公表制度」及び「電気事業者別の排出係数」等を参考に算出。2021年度の実績が目標値を上回ったため、引き続き2020年度の実績を基準値とし、目標値を1.0%削減とした。CO2排出算出項目としている電力・軽油・ガス・灯油の消費量は、軽油以外の合計値が減少傾向のため、CO2の排出量についても減少したと思われる。使用電力については、LEDへの変更や、エアコンの入替などの要因が考えられる。
	施設、設備、作業関連の緊急時対策	緊急事態発生件数 0 件 ○	緊急事態発生件数 0 件 ○	緊急事態発生件数 0 件 ○	緊急事態発生件数 0 件 ○	緊急事態発生件数 0 件 ○
その他環境に有益な項目	<ul style="list-style-type: none"> 再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進 	2020年度目標値 19.7%増加 ○	2021年度目標値 45.0%増加 ○	・再生入荷物 リサイクル品取扱量 1,536,748kg	2022年度目標値 21.1%増加 ○	2021年度はスポット回収が多かったため、その点を加味し、基準値はそのままで増加率を1.5%UPとした。今期、上半期は目標値未達成の月が多かったが、下半期に回収が入り、目標値を達成することができた。
	<ul style="list-style-type: none"> 会社周辺のクリーン活動 	2020年度目標値 2回実施 ○	2021年度目標値 2回実施 ○	目標 2回/年実施	2022年度目標値 2回実施 ○	環境活動実施計画のスケジュール通り、朝礼後の時間を利用し、実施することができた。
	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー発電事業によるCO2の削減 	実績集計の実施 2019年度 実績を基準値として 39.2%削減量UP ↑	実績集計の実施 2020年度 実績を基準値として 6.7%削減量DOWN ↓	2021年度実績 951,893kg-CO2	実績集計の実施 2020年度実績を 基準値として 6.6%削減量DOWN ↓	当社の再生可能エネルギー発電所における発電量から係数を用いて再出した。自然エネルギーを利用しているため、その年の天候の状況に大きく左右される。2020年の実績値に比べて削減量はDOWNとなったが、パネル洗浄や不要物の取り除き、定期的なメンテナンスの実施等、発電効率が上がるよう努めた。
	<ul style="list-style-type: none"> 新規アイテムのリサイクル業務 	TOP SECRET	TOP SECRET	TOP SECRET	TOP SECRET	-
<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電所のパネル洗浄 	本社近隣発電所のうち一部洗浄の実施	実績なし	本社高圧発電所のうち1/2箇所実施	本社高圧発電所のうち1/2箇所実施	発電効率の維持を計るため、予定通り本社付近の発電所のパネル洗浄を計画通り実施した。	

5. 教育訓練

● 環境訓練計画

教育名	教育の内容	対象者	実施期間	主管部門・機関
1.一般教育 I・II	・EMS概要 ・環境マネジメント活動全般 (方針、目的目標、EMP等含む)	管理者・一般従業員全員 (本社・東北事業所)	5~6月	環境管理課 部門責任者
2.特定教育	・作業による顕在的又は潜在的な環境影響 ・手順書に従わなかった場合の環境影響 ・環境関連法規等 ・その他著しい環境側面に関する知識	適用者全員 (本社・東北事業所)	5~6月	部門責任者 推進リーダー
3.専門教育	環境内部監査員養成講座	内部監査員候補者(予定なし)	-	外部講座
	環境監査員ブラッシュアップ教育 (監査の前の訓練)	内部監査員新人メンバー(予定なし)		内部監査リーダー
4.顧客要求事項教育	顧客先における環境安全教育の受講と社内における周知	該当部門責任者 関連作業従事者	1回/年	該当部門責任者
6.その他	産業廃棄物処理、再生利用に関する教育	関連従事者 (グループ会社も含む)	10月~11月	環境管理責任者
7.防災訓練 緊急事態対応訓練	防災訓練 今期特定している緊急事態について 緊急事態発生時での対応及び処置 緊急事態の実際の訓練	全従業員 緊急事態が想定される業務に従事している従業員 (本社・東北事業所)	9月~10月	環境管理課 部門責任者

● 教育訓練記録



一般教育・特定教育



防災訓練



産業廃棄物・再生利用に関する教育

当社では、毎年教育訓練計画に基づき、環境一般教育、特定教育、内部監査員教育等を実施し、すべての従業員に環境活動の取り組みへの理解や環境意識の向上を図っております。

また、業務の効率化を図る上でも、他部門やグループ会社の業務内容を理解できるよう、代表による合同教育を開催しております。

学習効果をより向上させるため、少人数のグループを形成して実施しております。

6. 産業廃棄物の再資源化、情報漏洩対策

排出者より処理委託を受けた産業廃棄物を極めて細やかに手解体・手選別することにより、鉄・非鉄・貴金属・ガラス・プラスチック等のリサイクル化を行っております。

● サーバー機器解体の場合



ハードディスクを確実に廃棄処分しないことで起こりうるリスク

- 情報漏えい
- アカウントの乗っ取り
- 個人情報の悪用

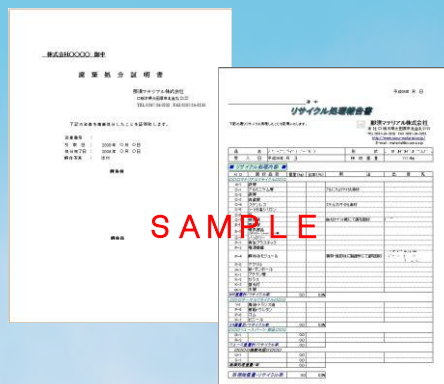
など多数・・・

個人情報など重要なデータが含まれているハードディスクは、廃棄の際フォーマットや出荷時状態へ戻しただけでは不十分であり、重大なセキュリティ事故を招く可能性があります。

当社では、破砕機に投入する等により、物理的に破壊し、読み込みを不可能にします。使用不可になるので、データは失われ、見た目にもデータごと破壊されていることが一目瞭然です。

● リサイクル報告書、廃棄証明書の作成

当社では、排出事業者様のご希望がございましたら、リサイクル処理報告書、廃棄証明書の発行や解体写真の提出、また、搬入時に排出事業者の担当者様立会のもと、廃棄物の適正処理状況の確認をして頂いております。



7. SDGsの取り組み

●「とちぎSDGs推進企業登録制度」一年次報告



SDGs達成に向け意欲的な企業活動に取り組む企業等が「環境」「社会」「経済」の3側面で宣言した内容について登録する制度です。登録から1年が経過し、進捗の報告を反映させ、宣言書を公表致しました。

SDGs達成に向けた宣言書

那須マテリアル株式会社

当社は、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた経営方針等

当社の主な事業活動である再資源化事業・再生利用事業、再生可能エネルギー発電事業は、資源を有効に活用し環境保全に関わる事業であり、お取引先様の社会的責任においても大きな役割を果たしている。その活動はSDGsの達成と目標を同じくするものであり、各社員が自覚を持ち、それぞれの役割を果たすことで、SDGsの目標達成に貢献して参ります。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び指標の進捗状況 <small>登録年月日：2022年10月13日</small>
環境 経済	再生可能エネルギー発電事業によるCO2削減	発電効率の維持	△発電効率維持を継続中 太陽光発電所内において、パネルの洗浄を実施
環境 社会 経済	廃棄物の適正管理、再生入荷物・リサイクル品の取り扱い増加、及び再利用、再資源化の促進	2020年度 →目標値3%増加達成実績 2030年度 →目標値8%増加達成	△取組継続中 2021年度目標値増加達成
社会 経済	個人情報、顧客情報の保護を含めた法規制の遵守	一年に一度全従業員を対象とした教育の実施	△取組継続中 2022年7月教育訓練実施済

8. その他の環境活動

●太陽光発電施設のメンテナンス

当社の太陽光発電所の発電効率を保つため、パネル洗浄と併せて、ブロアーでパネル上の落ち葉を除去するなど、随時実施致しました。



2022年度は当社の低圧第一発電所において、6月にパネル洗浄を実施し、10月～11月にかけては、ブロアーにて落葉の除去を随時実施しました。

天候の影響もありますが、前年度同時期と比較すると発電量が増加した結果となりました。

2021		2022年	
発電量	単位：kwh	発電量	単位：kwh
	発電量		発電量
1月		1月	
2月		2月	
3月		3月	
4月		4月	
5月		5月	
6月	4,021	6月	4,400
7月	4,715	7月	4,036
8月	4,049	8月	4,525
9月	3,713	9月	3,609
10月	3,107	10月	3,496
11月	3,493	11月	3,878
12月	3,031	12月	2,231
計		計	

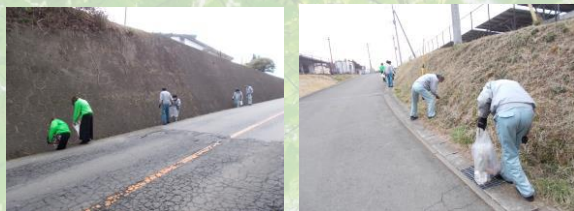


8. 地域社会への取り組み

● クリーン活動

一定期間ごとに、本社及び東北事業所の従業員が、工場周辺のクリーン活動を実施しています。

本社 クリーン活動の様子



東北事業所 クリーン活動の様子



● 地域プロスポーツチームの支援

当社では、地域活性化を目的とし、2020-2021シーズンより栃木県のプロバスケットボールチーム「宇都宮BREX」のオフィシャルスポンサーとして、チームを応援しています。



私たちは宇都宮BREXを
応援しています

宇都宮BREX ホームページ

<https://www.utsunomiyabrex.com/>



宇都宮ブレックスの
ウォームアップウェアに
社名が掲載されました。

● 企業版ふるさと納税

弊社代表取締役星彰治が、2022年11月24日に行われた秋田県にかほ市の企業版ふるさと納税寄付贈呈式に出席しました。秋田県にかほ市には弊社の風力発電施設やグループ会社である秋田マテリアル株式会社がございます。



那須マテリアル株式会社は、事業活動及びこの環境報告の情報開示を通じ、地球社会・顧客・お取引先様とコミュニケーションを計るとともに、信頼確保に今後とも努めて参ります。

代表取締役

長 野 浩

2023年 8月